

丹藤川上流地域森林整備について平成27年3月17日に協定を締結しました

盛岡森林管理署、岩手県、盛岡市、岩手町、岩手中央森林組合及び盛岡水源林事務所の六者で森林整備推進協定を締結しました。

この協定により、盛岡市玉山区と岩手町宮古平地区の国有林、県有林、私有林及び水源林造成林の共同施業を開始します。



協定期間は平成27年4月1日から平成28年3月末日までですが、その後第2期協定を結び事業の連続性を予定しております。

この協定により、期間中は民有林と国有林の共同での施業を行います。これにより、林道等の作設・供用、高性能林業機械の導入による低コストになる木材生産を行うことで、高収益な林業経営を目指します。

当日は、各機関の代表者から事業による森林整備の推進、雇用の拡大などの挨拶をいただき、協定書への調印を行い。

官民一体とした共同施業の森林整備の提案者である、岡田秀二岩手大学農学部教授より「6者での団地化は全国でも珍しく、公益性・経済性において意義がある。」との祝辞をいただきました。

協定区域は2,085haで、盛岡市玉山区の民有林431ha、岩手町宮古平地区の民有林413ha、岩手県有林34ha、水源林造成林372ha及び国有林835haです。



各機関代表者（左側より）

伊藤 岩手中央森林組合代表理事組合長

瀧澤 岩手町副町長

阿部 岩手県盛岡広域振興局林務部長

伊藤 盛岡市農林部長

国正 独立行政法人森林総合研究所森林
農地整備センター東北北海道整備
局盛岡水源林整備事務所長

清水 盛岡森林管理署長

（敬称略）



清水 盛岡森林管理署長挨拶



盛岡森林管理署

松尾森林技術指導官による

概要説明



協定書調印



岡田秀二 岩手大学農学部教授より
御祝辞



左側より

伊藤 岩手中央森林組合代表理事組合長

瀧澤 岩手町副町長

阿部 岩手県盛岡広域振興局林務部長

岡田秀二 岩手大学農学部教授

伊藤 盛岡市農林部長

国正 独立行政法人森林総合研究所森林

農地整備センター東北北海道整備

局盛岡水源林整備事務所長

清水 盛岡森林管理署長

(敬称略)